

**2022年度 公益財団法人ふじのくに未来財団**  
**事業報告書、附属明細書**  
～2022年4月1日～2023年3月31日～

**2022年度事業方針と重点テーマ**

新しい生活様式における持続可能な地域づくりのために

- ・SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」による課題整理「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」:
- ・持続可能な地域資源（人財・情報・財源等）の循環システムの構築  
人材育成、地域における財源循環推進として遺贈の推進
- ・SDGsをコミュニケーションツールとした企業とNPOのマッチング推進

※SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年9月の国連サミットで採択、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標。

**公益目的事業1**

地域の社会課題解決のために必要な地域資源を循環させ、多様な主体参加と協働を推進する事業

2022年度は引き続きCOVID-19の蔓延状況であったが、感染症と共存する新しい生活様式の定着が観察されるようになった。

静岡県は2021年の熱海土砂災害に引き続き大きな自然災害に見舞われた。2022年9月23日の台風15号により静岡県中西部は大きな被害を受けた。災害活動支援のために、被害直後の9月24日より災害支援基金への積極的な寄付募集を開始し、被災地の支援活動団体への助成を開始した。財源的支援以外に物資支援として、静岡県災害ボランティア本部と地域デザインカレッジ修了生情報共有会議との協働により、支援活動に必要な物資支援【～つなぐ静岡バトンプロジェクト～スマートサプライ】プロジェクトを実施した。災害時における県災害ボランティア本部との協働は、今後の災害時の連携体制につながるものと期待できる。

ふじのくにNPO活動支援センター事業として実施した「NPOと企業等とのマッチング支援事業」ではNPOと企業の協働を推進し新たな協働事例を創出した。

**(1) 寄付募集**

※随時募集 ※一般（企業、団体、個人等）から広く寄付を募る。

ア. 寄付者が選択する「テーマ指定」への寄付募集

- ・社会課題解決型（テーマ指定）
  - 子育て支援（414,550円、静岡県労働金庫）  
10月20日 寄付贈呈式（会場 静岡県労働金庫）
  - 環境保全（500,000円、CPコスメティクス）  
2023年4月11日 寄付贈呈式（会場 静岡プロダクツセンター）
- ・企業冠基金（計3,915,500円、2基金）
  - せいしん地域のちから基金（1,000,000円）

10月11日、2023年3月27日 寄付贈呈式（会場 静清信用金庫本店）  
 静岡トヨタ自動車ハイブリッド基金（2,915,500円）

4月21日 寄付贈呈式（会場 ふじのくにNPO活動支援センター）

イ. 寄付者が選択する課題解決「団体支援」寄付募集（計4,500,000円、1団体に3件）  
 ・（株）H○Qホールディングス、医療法人社団真厚会、1個人より（計4,500,000円）  
 NPO法人POPOLO

ウ. 財団の公益事業運営支援への寄付募集

① 財団への支援

静岡県遊技業協同組合（200,000円）

2023年2月10日 寄付贈呈式（会場 静岡県遊技業協同組合）

三栄ハイテックス（株）（50,150円）

静岡中央銀行（50,000円）

※「しずちゅうSDGs私募債」半期に1回、静岡中央銀行名で、顧客が指定した寄付先に寄付する。企業にとっては通常の私募債より手数料が多くなるが、SDGs達成への貢献ができる。

NPO法人自然と共生を考える会（22,106円）解散時の残余財産

チャリボン（35,537円）

はがき・切手等（55,235円）

その他個人等（225,155円）

② 熱海土砂災害支援基金（2021年7月3日に熱海市伊豆山で発生した土砂災害支援基金）  
 個人 5,000円（申込2022年3月、入金が2022年4月となったため）

③ 2022災害支援基金（2022年9月に発生した台風15号による静岡県内の災害支援基金）  
 （944,261円）

④ 協賛寄付（計273,773円、22件）

・寄付付き自販機（計273,773円、22台）

エ. 遺贈寄付の受け入れ

テーマ指定「動物愛護」 計4,518,072円、2件

遺言執行代理人：梅田久美司法書士事務所、司法書士法人中央合同事務所

オ. 「賛助会員」募集（計34,000円、9件：法人会員1件、個人会員8件）

寄付実績 計15,743,339円（昨年比56%）

科目	件数	2022年度 寄付額(円)	備考	前年度 寄付額(円)	昨年 比
賛助会費	9	34,000	法人1件、個人8件	28,000	121%
財団支援	120	1,587,444	静岡県遊技業協同組合 200,000 三栄ハイテックス（株） 50,150 （株）静岡中央銀行 50,000 NPO法人自然と共生を考える会 22,106 熱海土砂災害支援基金 5,000 2022災害支援基金 944,261 チャリボン（古本寄付） 35,537	8,253,152	19%

			その他	280,390		
テーマ指定	4	5,432,622	子育て支援	414,550	1,405,691	386%
			環境保全	500,000		
			動物愛護（遺贈寄付）	4,518,072		
冠基金	3	3,915,500	静岡トヨタ自動車（株）	2,915,500	18,239,711	21%
			静清信用金庫	1,000,000		
団体支援	3	4,500,000	医療法人社団真厚会	3,000,000	100,000	4500%
			（株）HoQホールディングス	1,000,000		
			個人	500,000		
協賛寄付	22	273,773	寄付付き自販機		300,295	91%
計	161	15,743,339			28,326,849	56%

参考：2015年4月1日～2023年3月31日の寄付実績 93,247,446（円）

寄付の種類	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
賛助会員	656,000	316,480	170,000	263,000	322,000	126,000	28,000	34,000	1,915,480
財団支援	295,698	657,066	1,235,954	691,307	576,358	1,792,141	8,253,152	1,587,444	15,089,120
テーマ	583,300	737,400	981,050	748,700	496,150	2,533,831	1,405,691	5,432,622	12,918,744
冠基金	3,440,000	5,745,500	7,226,500	4,605,500	5,647,860	3,229,000	18,239,711	3,915,500	52,049,571
団体支援	521,000	2,204,000	581,414	782,800	460,000	375,200	100,000	4,500,000	9,524,414
協賛寄付	130,435	188,477	134,280	101,260	302,412	319,185	300,295	273,773	1,750,117
総計	5,626,433	9,848,923	10,329,198	7,192,567	7,804,780	8,375,357	28,326,849	15,743,339	93,247,446

## （２）課題解決活動への資金助成（公募）

※テーマに沿った事業について、事業費の最大８割を助成する。

書面審査を経て、公開プレゼンテーション選考委員会で審査する。

助成決定総額 12,569,820 円

ア．冠基金助成事業（助成決定総額 5,109,000 円、10 事業）

【せいしん地域のちから基金】静清信用金庫による寄付を原資として助成

助成決定総額 720,000 円（2 事業）

助成事業名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	助成済額	事業開始日	事業終了日
丸子アルプストレイルラン実行委員会	丸子アルプストレイルラン実行委員会	高齢化とコロナ禍で地域活力が低迷している静岡市の西の端である丸子・宇津ノ谷地区において、連なる山の背（丸子アルプスと称す）をコースとして、トレイルランニング大会を開催する。初めての開催であることから一般250人 キッズ50人の定員とし、地域の名物とろろ汁や丸子紅茶、しずおかおでんなどでおもてなしします。	665,000	400,000	200,000	2022/4/9	2023/3/12
「おじいちゃんおばあちゃんといっしょに人形劇を見よう」事業	静岡県子ども劇場おやこ劇場連絡会	コロナ禍で家族の孤立化がさらに進み3世代が交流する機会が減ってしまっているため、赤ちゃんや子ども、親世代、祖父母世代が交流するきっかけ作りのため、一緒に参加できる人形劇鑑賞会を静岡市で行います。	404,840	320,000	0	2023/4/1	2023/7/20
総計（2事業）				720,000	200,000		

【静岡トヨタ自動車ハイブリッド基金】静岡トヨタ自動車（株）の寄付を原資として助成  
助成決定総額 2,135,000円（4事業）

助成事業名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	助成済額	事業開始日	事業終了日
災害時における災害救助犬の必要性と重要性に関する啓発活動	NPO法人災害救助犬静岡	災害時において出動される災害救助犬は、人名救出に大きな役割を果たしていますが、その存在や活動意義の理解度はまだまだ低いのが現状です。本事業では災害救助犬への理解者と共感者を増やすために、体験教室を通じた防災教育を実施すると共に、広報ツールであるHPの改修を行います。	1,081,816	787,000	787,000	2022/9/1	2022/12/31
高齢者健康づくり講座の開催と緊急連絡カードの配付普及事業	NPO法人びくにつく	団体が開催している「高齢者健康づくり講座」の参加者や地域の高齢者に、万が一に備えて常備してもらえようように緊急連絡カードを制作して配付します。また、車の内外それぞれに貼れるステッカーと緊急連絡カードを制作して、万が一の連絡先を「見える化」する仕組み作りをします。	734,020	580,000	290,000	2022/9/1	2023/8/31
子どもと学ぶ男女共同参画における防災・減災講座及び防災講演会	NPO法人御前崎災害支援ネットワーク	御前崎市企画政策課の依頼で、当ネットワークの本事業で「中学生NPO活動体験プログラム」の中高生の参加が決まりました。それぞれの講座や講演会に参加してもらおうと共に、主催者側として中学生と一緒に準備や当日の受付、司会、ファシリテーターなどを体験してもらいます。2日間連続開催し、様々な多くの専門分野の講師から実情の災害、防災・減災を学び、家族や地域に貢献できる新しい人材を育成することを目的とします。	745,960	300,000	300,000	2022/9/1	2022/10/31
支援の輪を広げる“地域食堂”事業	Einこぐま倶楽部	2021年3月から、伊東市の大池小学校の学区である十足（とおり）地区と隣接する地域の、主に経済的要因により困難を抱える親子や、身体的、経済的理由により孤立する高齢者を対象とした『地域食堂』を運営してきました。2023年度は、食材の値上げに対抗しつつ、子どもに提供する無料の食事を増やしていくために、事業に様々な改善を加えていきます。これらの活動を通じて、この地域の経済的な要因によって困難に直面している子どもと住民に対する支援の輪を広げていきます。	592,000	468,000	0	2023/4/4	2024/3/31
総計（4事業）				2,135,000	1,377,000		

【弥栄基金】遺贈寄付（遺言執行人：（一社）しんきん成年後見サポート沼津）を原資として助成  
助成決定総額 2,254,000円（4事業）

助成事業名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	助成済額	事業開始日	事業終了日
お空っこ家族のグリーフケア	Mallow～お空の天使を想う会～	流産・死産・人工流産（中絶）・新生児死を経験された方へのケアや、行政や医療機関と連携して切れ目のない支援やグリーフケアの周知・ケアの向上を図ります。	974,314	779,000	380,000	2022/9/1	2023/3/31
飼い主のいない猫及び高齢者の動物問題に取り組む	動物ノート	沼津市において2021年度に達成した、保健所による殺処分ゼロを継続し、飼い主のいない猫への不妊手術事業を更に進めます。その為に、2021年度より環境省の策定した新しいプロジェクト「多頭飼育ガイドライン」に基づき、介護関連業種の方や行政と連携し「高齢者の動物問題」への取り組みを行います。	650,000	500,000	250,000	2022/8/31	2023/5/31
あひるBOOK CLUB ～青少年にもっと本を身近に感じてもらう～	一般社団法人ママとね	主に三島市の本好きな小学生から高校生を対象として、地域の青少年のサードプレースの一つとなれるよう、団体が企画運営する私設図書館「あひる図書館」の青少年層における認知度および利用率をあげ、本を通じた青少年の健全育成を目指します。	593,952	475,000	230,000	2022/9/4	2023/8/31
認知症に勝つ里山セラピー苑人知笑農園整備と生活習慣改善事業	遊水匠の会	静岡県東部を対象に農園の土壌改良、竹林伐根間伐、棚田保全等により、脳に有効な無農薬有機栽培野菜・タケノコ・椎茸で食生活習慣の改善を図り、認知機能の低下防止を図ります。	723,000	500,000	0	2023/4/1	2024/3/31
総計（4事業）				2,254,000	860,000		

イ. テーマ指定助成事業（助成決定総額 2,850,000円）

【子育て支援事業】静岡県労働金庫による寄付を原資として助成  
助成決定総額 300,000円（1事業）

助成事業名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	助成済額	事業開始日	事業終了日
子どもをド真ん中に据えた多世代交流広場	NPO法人楽舎	子どもが少なく、子ども同士が遊ぶ機会の少ない山里で親子で遊べる場所を作るため、廃棄した通所介護施設を多世代交流広場にしていつでも子どもや親、地域の人が集える居場所として整備し、月に一度イベントを開催します。	571,000	300,000	0	2023/4/1	2024/3/31
総計（1事業）				300,000	0		

【スポーツ振興事業】(株) マルト神戸屋、個人による寄付を原資として助成

助成決定総額 150,000 円 (1 事業)

助成事業名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	助成済額	事業開始日	事業終了日
もっと速く、もっと高く!	NPO法人みらいアース	近年子どもの体格は向上していますが、身体能力の低下が深刻化し、又、自分の身体を操作する能力も低下している指摘があります。これまで幼児・学生の身体の能力の向上を目的とした基礎体力向上の活動をしてきましたが、単なる体力向上を支援する活動ではなく、静岡県が陸上大国と言われる陸上競技の中でも競技人口の少ない跳躍競技に特化する形でトップアスリートの育成を目指す活動につなげていきたいと考えます。	228,000	150,000	75,000	2022/12/1	2024/3/31
総計 (1事業)				150,000	75,000		

【動物愛護】遺贈寄付 (遺言執行人: 梅田久美司法書士事務所、司法書士法人中央合同事務所) を原資として助成

助成決定総額 2,400,000 円 (12 事業)

実施団体	事業対象地域	事業内容	助成決定額	助成済額	事業開始日	事業終了日
にゃんこサポート三島	三島市・清水町・長泉町・伊豆の国市・函南町・沼津市	対象動物: 猫 事業内容: 譲渡活動、TNR活動、啓発活動、その他 (猫に関する相談活動)	200,000	200,000	2022/4/1	2023/3/31
NPO法人捨て猫をなくす会	富士市、沼津市	対象動物: 猫 事業内容: 動物の保護活動、TNR活動	200,000	200,000	2022/8/20	2023/7/31
NPO法人その小さいのち守りたいプロジェクト	静岡県内	対象動物: 犬 事業内容: 動物の保護活動、譲渡活動、啓発活動	200,000	200,000	2022/9/1	2023/8/31
犬部 (わんわんお助け隊)	静岡県東部地区	対象動物: 猫 事業内容: 動物の保護活動、譲渡活動、TNR活動、啓発活動	200,000	200,000	2022/10/1	2022/12/31
NPO法人くすのき	静岡県熱海市	対象動物: 猫 事業内容: 動物の保護活動、譲渡活動、TNR活動、啓発活動	200,000	200,000	2022/9/1	2023/8/31
NPO法人まち・人・くらし・しだはいワンニャンの会	焼津市、藤枝市、島田市、吉田町、牧之原市	対象動物: 犬、猫 事業内容: 動物の保護活動、譲渡活動、TNR活動、啓発活動	200,000	200,000	2022/9/1	2022/12/31
どっくふあみりーきゅ〜びっと	静岡県内	対象動物: 犬 事業内容: 動物の保護活動、譲渡活動、TNR活動、啓発活動	200,000	200,000	2022/9/16	2022/12/15
子猫園 ヘルソーデシャトンス	静岡県内	対象動物: 猫 動物の保護活動、譲渡活動、TNR活動、啓発活動	200,000	0	2023/4/1	2024/3/31
NPO法人 FF Dog Connect	静岡県	対象動物: 犬 動物の保護活動、譲渡活動、啓発活動	200,000	0	2023/4/1	2024/3/31
犬猫保護LeaLea	浜松市を中心とした県西部	対象動物: 犬及び猫 動物の保護活動、譲渡活動、啓発活動	200,000	0	2023/4/1	2023/8/30
キャットファースト三島	静岡県	対象動物: 猫 動物の保護活動、譲渡活動、TNR活動、啓発活動	200,000	0	2023/4/1	2023/9/30
島田市保護猫ボランティア街猫ハウスにゃーご	島田市→猫の保護 東海・関東南部→里親希望者へ猫の譲渡	対象動物: 猫 動物の保護活動、譲渡活動、TNR活動、啓発活動、その他 (市役所・自治会交渉)	200,000	0	2023/4/1	2024/3/31
総計 (12件)			2,400,000	1,400,000		

ウ. 団体指定助成事業 団体を指定して助成

助成決定総額 3,815,820 円 (2 事業)

助成事業名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	助成済額	事業開始日	事業終了日
デジタルツール世代の子供たちへのパソコン安心サポートイベント	子育て支援サークルほっと	社会的養護を必要とする子供や核家族の子供たちに向けて、パソコンを使用したイベントを行います。その後はオンラインも交えてパソコンやデジタルツールの使い方、インターネットの注意点、ソフトウェアの活用方法を学ぶ場を作ります。	238,040	152,820	75,000	2022/12/20	2023/12/17
静岡子ども応援プロジェクト	NPO法人POPOLO	静岡県内の生活に困窮しているひとり親世帯や子どものいる生活困窮世帯を対象に、公募で申請を受け付け、申請の中から具体的に生活に困っていると判断した120世帯に対して約30,000円相当の物品もしくは金券を提供します。申込をLINE登録必須にすることで、その後の生活相談につなげていきます。	4,070,000	3,663,000	1,800,000	2022/12/20	2023/3/31
総計 (2事業)				3,815,820	1,875,000		

エ. 2022 災害支援基金助成事業 (財団自主事業)

助成決定総額 795,000 円 (8 事業)

助成事業名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	助成済額	事業開始日	事業終了日
令和4年台風15号災害 乳幼児子育て家庭洗濯支援事業	しずおか子育て防災ネットワーク	静岡市内において浸水被害に見舞われた家庭に対して、各家庭における片付け等の復旧作業及び暮らしの支援を目的とし、選択代行サポートを行います。	202,000	100,000	100,000	2022/9/27	2022/11/30
令和4年度台風15号災害における乳幼児児童子育て家庭保育支援事業	NPO法人ゆたかの木	静岡市内において浸水被害に見舞われた子育て家庭を対象として、乳幼児児童の一時預かりと、片付け等の復旧作業及び暮らしの支援を行います。	100,000	100,000	100,000	2022/10/3	2022/12/15
令和4年台風15号災害における静岡県内家屋の清掃消毒作業事業	一般社団法人四番隊	静岡県内において、家屋周辺の泥かきや床下の泥の除去、清掃・消毒作業や床板上げなどの支援活動を行います。	388,000	100,000	100,000	2022/10/2	2022/10/31
台風15号 床上・床下浸水された家の復旧活動	災害支援 ONE TEAM	静岡市清水区の被災された方を対象に、床上・床下浸水した家屋の土砂を撤去したり、床を清掃・消毒したりする復旧作業を行います。	506,000	100,000	100,000	2022/9/30	2023/3/31
令和4年台風15号静岡・清水区生活復旧支援プロジェクト	NPO法人ユナイテッドかながわ	静岡市清水区の被災者支援を目的に、水の配布や清掃活動などの支援活動ををボランティアセンターと協力して行います。	125,200	100,000	100,000	2022/9/25	2022/12/22
大井川流域の復旧活動支援プロジェクト～抜里地区「上手川」復旧作業	NPO法人クロスメディアしまだ	台風15号の災害により、土砂の堆積や川底の上昇、支流の反乱などの被害が出ている島田市川根町抜里地区の上手側の美化復旧作業を実施します。	108,911	95,000	95,000	2022/10/13	2022/11/30
台風15号災害子どもの居場所づくりプロジェクト	ちゃりTea屋♪	コロナ禍と災害によって希薄になった地域コミュニティの活性化を目的に、静岡市清水区の被災者の自立支援や子どもたち向けのイベント開催、子ども預かり支援等を行います。	153,792	100,000	100,000	2022/9/25	2023/3/31
玉川地区土砂撤去プロジェクト	一般社団法人オクシズベース	複数個所で土砂崩れが起きている静岡市葵区玉川地区で、土砂や材木の撤去作業を行います。	117,400	100,000	100,000	2022/10/1	2022/10/12
総計 (8事業)				795,000	795,000		

オ. 公開プレゼンテーション選考委員会(冠基金助成事業、テーマ指定助成事業)

【選考委員】

- 築地 茂 氏【(株) 静岡新聞社 論説委員】委員長
- 白田誠一 氏【(株) 日本政策金融公庫 営業課長】
- 磯谷千代美氏【NPO法人NPOサポートしみず 理事長】
- 山田夏子 氏【公認会計士、税理士】
- 佐藤和枝 氏【公益財団法人ふじのくに未来財団 理事】

- ・第1回：2022年8月4日 13:30～ 於：オンライン (Zoom)
- ・第2回：2023年2月15日 13:30～ 於：オンライン (Zoom)

カ. 助成事業報告発表会 (ネンイチ 2022)

日 時：2022年11月25日 13:00～16:00

会場：ふじのくにNPO活動支援センター（発表団体・寄付者・選考委員・財団関係者）、  
Zoom（寄付者・選考委員）、YouTube ライブ（視聴希望者用）のハイブリッド開催  
参加者：30名（助成事業実施者、寄付者、その他）、発表17助成事業実施団体

### （3）寄付文化の創造

寄付や社会的投資などによる県民の社会貢献への参加やNPOの課題解決やスキルアップ、ファンドレイジング支援につなげる。

ア. クラウドファンディングの実践の啓発

イ. 遺贈寄付相談窓口

遺贈相談を随時受け付けた。

ウ. 「募金箱」「寄付付き自販機」「寄付付き商品」等の開発・販売支援

・寄付付き商品（8品）

企業名	商品
静岡トヨタ自動車（株）	ハイブリッド車及びプラグインハイブリッド車（37車種）に燃料電池自動車（FCEV）「MIRAI」、バッテリー式電気自動車（BEV）「bZ4X」を加えた39車種
静岡信用金庫	SDGs 応援定期預金「チャレンジ！ゼロカーボン」 定期預金「家康公からの贈り物」
シーラック（株）	「バリ勝男くん。」（食料品）
（株）季咲亭	「静岡めんま」
（株）CPコスメティクス	「ラフレンドィー ボタニカル」（化粧品）
三島信用金庫	「SDGs 応援定期 2022」
（株）静岡中央銀行	「しずちゅうSDGs 私募債」
清水湊会	2023年4月2日開催チャリティーイベントチケット

・バリューブックス「チャリボン（古本寄付）」

静岡県職員組合事務所、ふじのくにNPO活動支援センター（東・中）

静岡朝日テレビ、静岡信用金庫、静岡県労働金庫労働組合

静岡県議会事務所等30ヶ所以上に古本回収箱を設置

・コカ・コーライーストジャパン（株）の寄付付き自販機2台を設置

戸田書店（株） 富士店【富士市】、富士山こどもBASE【富士宮市】

・ダイードリンコ（株）の寄付付き自販機20台を設置

静岡県立総合病院（芙蓉会）3F、4F【静岡市】

医療法人社団静寿会 シーサイド浜当目【焼津市】

静岡トヨペット（株） 掛川店【掛川市】

カナエ工業（株） 本社、喫煙所、工場北【富士宮市】

常葉大学 静岡草薙キャンパス【静岡市】、静岡トヨペット（株）本社【静岡市】

（株）朝日メディアブレン（静岡朝日テレビ内）【静岡市】

スルガ銀行（株）東静岡支店【静岡市】、珀寿会 大富陽光園【焼津市】

（公財）静岡県コンテナ輸送振興協会（静岡県浜松内陸コンテナ基地内）【浜松市】

草薙駅北口 2台（（一社）草薙カルテッド）【静岡市】

静岡医療専門学校（静岡医療学園）【静岡市】、星光社印刷（株）【静岡市】  
静岡産業大学 情報学部グラウンド前、図書館前【藤枝市】  
レカム（株）静岡支店【静岡市】

- ・使い損じハガキ、未使用切手の寄贈受付（企業、個人）
- エ. スマートサプライを利用した災害時の物資寄贈プログラム支援（NPOへの提供）  
静岡県災害ボランティア本部、地域デザインカレッジ修了生情報共有会議と協働
  - ・放課後等デイサービス『ここ』（NPO法人清水障害者サポートセンターそら）
  - ・NPO法人御前崎災害支援ネットワーク
  - ・しずおか子育て防災ネットワーク
  - ・NPO法人クロスメディアしまだ
- オ. 寄付者の情報管理データベース構築やIT活用支援等による資金調達力向上支援
  - ・Salesforce の活用
  - ・クラウドファンディング型（クラウドファンディング型の活用）
- カ. 2023 ファンドレイジング大会（FRJ2023）3名参加  
日本ファンドレイジング協会静岡チャプター主催報告会（2023年3月29日）参加

#### （4）社会課題解決経営のための資源提供

- ア. NPO等社会課題解決にかかるセミナー、ワークショップ等の開催  
（FNC業務内で実施、別紙参照）
- イ. 人材育成事業（FNC業務内で実施、別紙参照）
  - ・NPOや中間支援スタッフ等の人材育成  
ICT人材育成講座、中間支援スタッフ研修、NPO向け講座の開催
  - ・非営利組織経営の在り方（ガバナンス）研修（非営利組織評価センター主催 10回）参加
- ウ. ファンドレイジング支援
  - ・寄付月間 2022-Giving Decemberへの参加：ネンイチ 2022 でエントリー
- エ. インターン受入れ
  - ・大学生インターン（9月7日）
  - ・障がい者職業訓練「ビジネスパソコン2（デュアル）」における訓練生（2023年2月15日～3月7日）

#### （5）コンサルティング事業（FNC業務内で実施、別紙参照）

- ア. プロボノ・専門家等募集・登録の仕組み等を構築
  - ・司法書士、公認会計士、社会保険労務士による相談
- イ. 中間支援及びNPO基盤整備・コンサルティング等
  - ・NPOコンサルティングの実施
- ウ. CSRコンサルティング
  - ・企業のCSR相談、SDGs相談
  - ・NPOと企業等のマッチング事業（FNC業務内で実施、別紙参照）



## (6) 社会課題とその解決に関する調査研究事業

- ア. 地域課題や資金循環、そのニーズに関する研究会等の開催
  - ・ 県内中間支援スタッフ交流会における意見交換（FNC業務内、別紙参照）
  - ふじのくにソーシャルビジネス支援ネットワーク連絡会議（4月13日、8月10日、12月14日）
- イ. 実地取材・ヒヤリング等によるニーズ把握（FNC業務内で実施）
  - ・ 出張NPO相談、講座等におけるヒヤリングによるニーズ把握
- ウ. 課題把握の仕組みづくり検討
  - ・ 台風15号（9月26日）に関する情報共有会議への参加
  - ・ 台風15号被害に関わる「ふじのくにNPO連携促進会議」（9月26日、10月12日）参加
  - ・ 台風15号支援活動報告会（2023年3月22日）への参加
- エ. 非営利組織のガバナンス調査の実施（9月15日～2023年1月31日）
  - 調査結果報告会（2023年3月3日）（FNC業務内で実施）

## (7) 社会課題とその解決に関する情報収集及び情報発信事業

- ア. ふじのくに未来財団助成事業の説明
- イ. ホームページでの情報発信、月1回のメールマガジン（2,264読者）、SNSによる随時情報発信
- ウ. 公益財団法人用「リーフレット」作成
  - ・ 2021年度活動報告書作成 2,000部
  - 関係機関等へ配布、配架依頼、講座での配布
  - 来館者、相談者への配布等
- エ. 第13回SCCしずおかコピー大賞へのエントリー  
「SDGsへの取り組みで未来が変わること伝えるコピー」で公募、747作品の応募作品  
採択された10作品
  - ・ 未来を担うのは、子どもじゃなくて今生きているみんなです。（準大賞）
  - ・ 割引もだけど、削減も売れる2文字だ。
  - ・ 18番目の目標は自分でみつける。
  - ・ 今、ちょっと未来が変わった気がする。
  - ・ 誇れる過去になろう
  - ・ 僕らの幸せが、誰かの不幸せを生まないために
  - ・ 今のままでは、持続不能ということです。
  - ・ そのゴールは「あたりまえ」の始まり。
  - ・ あなたの生きていきたい未来。それが答え。
  - ・ 君の捨てたストロー拾ってもいい？

## (8) 行政・企業・NPO等との協働事業

- ア. ヒヤリング・取材対応等
  - ・ 寄付贈呈式、イベント等のプレスリリースの実施
  - ・ メディア掲載（17件）

日付	内 容	媒 体
2022/4/4	ふじのくに未来財団に寄付 静清信用金庫	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2022/4/22	NPO支援へ291万円を寄付 静岡トヨタ	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2022/5/8	売り上げの一部を大井川保全へ寄付 CPコスメティックス	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2022/5/9	持続可能な未来のために、地球に優しい生産を目指したOPコスメティクス化粧品「ラフレンドリー ポタニカル」の売上の一部を、公益財団法人ふじのくに未来財団へ寄付。	PR TIMES
2022/5/20	ふじのくに未来財団の静岡トヨタハイブリッド基金に291万円を寄付	静岡ビジネスレポート
2022/6/9	静清信金 SDGs応援定期預金開始	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2022/6/13	【参加者募集】SDGsでつながる企業とNPO	PR TIMES、中日新聞、exciteニュース、BIGLOBEニュース、時事ドットコムニュース
2022/6/14	企業とNPO SDGs連携紹介	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2022/7/29	SDGs連携成果紹介 企業とNPO代表者ら 静岡	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2022/8/20	ふじのくにNPO活動支援センター SDGsでつながる企業とNPOを開催	静岡ビジネスレポート
2022/10/14	ふじのくに未来財団に50万円 静清信金が寄付	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2022/10/19	ホテル舞う川もう一度 島田・川根町抜里で復旧作業 台風15号被害	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2022/10/24	静岡県労働金庫、ふじのくに財団に寄付	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2022/11/20	静清信用金庫 SDGsの取り組みに基づき地域を応援 ふじのくに未来財団に50万円を寄付	静岡ビジネスレポート
2023/2/10	地域の課題解決に役立てて NPO支援の財団に静岡県遊技業協同組合が寄付	テレビ静岡、Yahoo!ニュース
2023/2/11	ふじのくに財団に売り上げ一部寄付 静岡県遊技業協同組合	静岡新聞、あなたの静岡新聞
2023/3/28	ふじのくに財団に静清信金50万寄付	静岡新聞、あなたの静岡新聞

#### イ. 講師、委員派遣等

- ・委員等：焼津市市民公益活動事業補助金審査員  
島田市協働のまちづくり推進事業費補助金審査委員  
藤枝市まちづくり総合事業補助金選考委員  
菊川市協働推進委員  
沼津市民間支援まちづくりファンドアドバイザー  
しずおか防犯まちづくり県民会議会員  
静岡県災害ボランティアネットワーク委員
- ・講 師：NPO法人事務講座基礎編（御殿場市市民活動支援センター主催）

#### ウ. ふじのくにNPO活動支援センター等運営業務

（静岡県くらし・環境部県民生活課協働推進班より受託） 別紙参照

#### エ. ふじのくにソーシャルビジネス支援ネットワーク

- ・社会起業家向け法人設立・資金調達相談会開催（4月13日、6月8日、8月10日、12月14日、2023年2月8日）  
相談4件
- ・ソーシャルビジネス事業計画作成ワークショップ開催（10月12日）  
講師：(株)日本政策金融公庫、2団体参加
- ・ネットワーク連絡会議開催（4月13日、8月10日、12月14日）ふじのくにNPO活動支援センター
- ・日本政策金融公庫の企業×NPOの連携・協働プラットフォーム「ソーシャルビジネスステーション」に掲載 <https://www.jfc.go.jp/n/finance/social/sbs/>

#### オ. 一社）全国コミュニティ財団協会会員

- ・通常総会：2022年8月29日
- ・臨時総会：2023年2月24日
- ・意見交換会：2022年4月19日
- ・東海ブロックオンライン会議：2023年2月3日、4団体参加

公益財団法人ささえあいのまち創造基金（三重県）

公益財団法人あいちコミュニティ財団（愛知県）

公益財団法人南砺幸せ未来基金（富山県南砺市）

公益財団法人ふじのくに未来財団（静岡県）

カ. NPO・市民活動支援共有ミーティング（わくわく会議）

・全国中間支援ネットワーク隔月会議による情報共有

キ. 全国NPO事務支援カンファレンス会員

・会員メーリングリストによる情報共有（随時）

ク. NPO法人会計基準協議会会員

・会員メーリングリストによるNPO会計基準に関する情報共有（随時）

ケ. 静岡県地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）

コ. その他

・掛川SDGsプラットフォーム参加

・御殿場SDGsクラブ参加

・後援

①アオハルロックフェスティバル2023（アオハルロックフェスティバル実行委員会主催）

2023年3月5日開催 於：Live House 窓枠（浜松市）

②第10回親守詩静岡県大会（親守詩静岡県大会実行委員会）

2023年3月12日開催 於：日本平ホテル（静岡市）

## （9）組織に関する事項

ア. 評議員会

①2022年6月21日 2022年度第1回定時評議員会

第1号議案 第7期貸借対照表、損益計算書、及び財産目録、事業報告書承認の件  
以上原案通り承認

第2号議案 任期満了に伴う理事、監事、評議員選任の件  
以上原案通り承認

②2022年8月18日 2022年度第2回みなし決議による評議員会

第1号議案 評議員選任の件  
以上原案通り承認

イ. 理事会

①2022年4月6日 2022年度第1回みなし決議による理事会

第1号議案 役員候補選考委員会の発足、代表理事を除く委員の選定  
以上原案通り承認

報告事項 なし

②2022年5月27日 2022年度第2回理事会

第1号議案 第7期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び財産目録等承認の件  
以上原案通り承認

第2号議案 2022年度定時評議員会の招集の決定に関する件  
i) 2021年度事業報告及び決算の承認  
ii) 任期満了に伴う理事、監事、評議員の選任  
以上原案通り承認

第3号議案 助成事業選考委員に関する件  
以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

- 1) 寄付状況
- 2) 助成事業
- 3) その他

③2022年6月21日 2022年度第3回みなし決議による理事会  
第1号議案 代表理事、副代表理事、専務理事選定の件  
以上原案通り承認

報告事項 なし

④2022年9月14日 2022年度第4回理事会

議案 なし

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

- 1) 榎本哲也評議員の辞任及び柏田健次郎評議員（中日新聞・東京新聞 静岡総局 総局長）の就任
- 2) 寄付状況
- 3) 助成事業
- 4) 財団の未来についての意見交換
- 5) その他
  - ・2021年度報告書作成中

⑤2022年11月7日 2022年度第5回理事会

議案 なし

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

- 1) 寄付状況
- 2) 助成事業
  - ・第2回助成事業公募について
  - ・2022ネンイチ（11月25日開催）
- 3) 災害支援基金助成事業
- 4) スマートサプライ（台風15号による災害支援物資支援）
- 5) その他
  - ・2021年度報告書 2,000部 印刷発送、公的機関への配架

⑥2023年3月6日 2022年度第6回理事会

第1号議案 2023年度事業計画案、予算書案の承認の件

以上原案通り承認

第2号議案 役員候補者選定委員会規定、寄付金取扱規定の件

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

- 1) 所轄庁による立入検査について
- 2) 寄付状況
- 3) 第2回助成事業選考委員会について
- 4) 令和5年度ふじのくにNPO活動支援センター運營業務（委託事業）申請について
- 5) その他

ウ. コンプライアンス委員会

日 時：2022年9月20日

参加者：都築直人（委員長）、木南妙子、千野和子、杉本直人（外部委員）

議 題：コンプライアンス違反等について

コンプライアンス研修について

エ. コンプライアンス研修（職員対象）

日 時：2022年12月9日

参加者：今村昌弘、木南妙子、篠崎留那、須田亜紀、千野和子、一氏涼子、村上茂之

議 題：コンプライアンス違反の報告（報告事項なし）

外部からコンプライアンス違反を問われた時の対応、また問われなかったために

オ. 立入検査

日 時：2023年2月13日

会 場：財団事務所（静岡市駿河区八幡一丁目2-21 KKビル101）

ふじのくにNPO活動支援センター（静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F）

立入検査官：静岡県 経営管理部 法務課 法人班 主査 高橋秀行

静岡県 くらし・環境部 県民生活課 協働推進班 中野愛子、岡真琴

ふじのくに未来財団：土屋優行代表理事、千野和子専務理事、木南妙子経理担当

結果：口頭指導：議事録記載についての修正点を受け今後注意

令和4年度  
ふじのくにNPO活動支援センター等運営業務  
実施報告書

令和5年4月

公益財団法人 ふじのくに未来財団

目 次

I. ふじのくにNPO活動支援センター等運営業務実施の基本方針	1
II. 業務項目ごとの実施報告	2
1 ふじのくにNPO活動支援センター等の管理	2
2 NPOや中間支援組織と県との間のコーディネート	3
3 相談対応	5
4 NPO法に基づく認定及び特例認定の取得を目指すNPO法人の支援	8
5 相談事例の集約及び相談事例集の作成	10
6 NPOのICT利活用の支援	11
7 NPO向け講座等の開催	15
8 伊豆地域市民活動ネットワークの運営支援	19
9 中間支援人材の育成	24
10 NPOと企業等とのマッチング支援	28
11 NPO、社会貢献活動等に関する情報発信	32
12 その他の業務	33
添付資料	35

## I. ふじのくにNPO活動支援センター等運営業務実施の基本方針

### (1) 『中間支援機能の充実』 NPO（協働）センターの存在意義を高める

市町センターが地域のNPO等のニーズに応えられる支援の提供

### (2) 『SDGs を共通言語としての協働推進』

NPO以外の組織体との連携

### (3) 『NPO等の信頼度向上』

NPO等の基盤整備の推進（ガバナンス、コンプライアンス、適切な会計処理）

センターの各事業実施にあたっては、管内市町担当課や中間支援組織、その他外部機関や専門家の方に積極的に関わっていただき、事業実施効果の最大化に努める。



## Ⅱ. 業務項目ごとの実施報告

### 1 ふじのくにNPO活動支援センター等の管理

ふじのくにNPO活動支援センター（略称：FNC、所在地：静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2階）及び東部駐在所（対外的呼称：ふじのくに東部NPO活動支援センター、略称：東部FNC、所在地：沼津市大手町1丁目1-3 沼津産業ビル2階 静岡県東部県民生活センター内）の管理業務を実施する。

## 2 NPOや中間支援組織と県との間のコーディネート

### (1) 継続的なコミュニケーション

センター業務の連携や課題の共有のために月例会議を開催する。また、県や市町センターと随時円滑なコミュニケーションを取り、NPOに関する最新情報や相談事例を共有し意見交換を行う。

- ・実施結果：センター会議の開催（11回）

令和4年

- 4月20日（水） 第1回センター会議（於：ふじのくにNPO活動支援センター）
- 5月18日（水） 第2回センター会議（於：県庁）
- 6月15日（水） 第3回センター会議（於：ふじのくにNPO活動支援センター）
- 7月20日（水） 第4回センター会議（於：県庁）
- 8月17日（水） 第5回センター会議（於：ふじのくにNPO活動支援センター）
- 9月13日（火） 第6回センター会議（於：県庁）
- 10月19日（水） 第7回センター会議（於：ふじのくにNPO活動支援センター）
- 11月16日（水） 第8回センター会議（於：県庁）
- 12月21日（水） 第9回センター会議（於：ふじのくにNPO活動支援センター）

令和5年

- 1月19日（木） 第10回センター会議（於：県庁）
- 2月22日（水） 第11回センター会議（於：ふじのくにNPO活動支援センター）

### (2) 市町NPOセンターとの意見交換

市町NPOセンタースタッフとの意見交換を通じNPOのニーズや課題を把握し、県のNPO施策に反映させる。

- ・実施結果：市町市民活動センター訪問・意見交換

令和4年

- 5月12日（木） NPO法人NPOサプライズ
- 5月16日（月） 富士市民活動センター コミュニティ f
- 5月17日（火） 静岡市番町市民活動センター
- 5月26日（木） 磐田市市民活動センター、菊川市市民協働センター
- 5月31日（火） 静岡市清水市民活動センター
- 6月6日（月） NPO法人ESUNE
- 6月8日（水） 沼津市地域自治課、NPO法人東部パレット、裾野市市民活動センター
- 6月16日（木） 浜松市市民協働センター、認定NPO法人浜松NPOネットワークセンター

- 6月17日（金） ふじえだ市民活動支援センター、一般社団法人SACLABO
- 6月22日（水） 湖西市市民課（湖西市市民活動センター）
- 6月29日（水） 袋井市協働まちづくりセンター「ふらっと」、島田市市民活動センター、御殿場市民活動支援センター
- 6月30日（木） 焼津市市民活動交流センター
- 7月1日（金） 富士宮駅前交流センターきらら、NPO法人母力向上委員会、NPO法人まちづくりトップランナーふじのみや本舗
- 7月6日（水） 掛川市生涯学習協働推進課、NPO法人WAKUWAKU西郷、御前崎市、NPO法人Earth Communication
- 7月7日（木） 三島市民活動センター、NPO法人みしまびと、いとう市民活動支援センター、NPO法人R-Ship
- 7月13日（水） 伊豆の国市協働まちづくり課、チーム防災いずのくに、IZUCCO制作実行委員会（資料提供のみ）、熱海市、NPO法人atamista
- 7月14日（木） 函南町企画財政課、NPO法人こるり、NPO法人かんなみ子育てネットワーク・びあ
- 7月19日（火） 南伊豆町企画課、NPO法人伊豆未来塾、下田市企画課、NPO法人伊豆in賀茂6

### 3 相談対応

NPO活動支援センターの窓口、電話、メール、オンライン会議システム等により相談対応する。また出張相談会によるNPO等の相談対応も実施する。

#### (1) NPO活動支援センターの窓口、電話、メール、オンライン会議システム等による相談対応

- ・目的：NPO等の支援、協働、認定、資金調達等社会貢献活動に関する相談対応
- ・日程：随時（基本予約制）で対応する。
- ・対象：企業、行政、自治会、学校、NPO、個人等
- ・内容：FNC窓口、電話、メール、オンライン会議システム等により相談対応を行う。  
NPO法人事務、団体運営、協働、SDGs、CSR、社会貢献等についての相談に原則予約制で対応する。必要に応じて専門家や他の支援機関につなげる。
- ・実績：年間相談件数 815件（FNC：455件、東部FNC：360件）  
※令和3年度 1,028件（FNC：602件、東部FNC：426件）

#### (2) NPO出張相談会

- ・目的：市町センター未設置市町及び周辺市町のNPO支援
- ・対象：県内NPO等
- ・内容：NPO法人設立及びNPO相談全般
- ・場所：オンライン会議システム等の利用、団体事務所等出張相談希望団体と調整
- ・実績：出張セミナー・講座をオンライン会議システム等に変更したため実施せず

#### 総括（成果と課題）

相談件数は前年度比 79.3%（FNC 75.6%、東部FNC 84.5%）となった。相談件数減少の理由としては、比較的運営管理が容易な一般社団法人数の増加や、新型コロナウイルス感染症が終息に向かったことによる関連相談の減少等が考えられる。

相談形式は電話 47.2%と最も多く、センター来所 21.8%、メール 16.1%、オンライン会議システム等 13.0%となった。

相談内容は、NPO事務（事業報告書や定款変更等）が最も多く、次いで事業運営、組織運営（社員総会の招集方法やオンライン会議システムを用いた開催方法、役員の選任方法、法務局の登記手続き等）、資金調達（補助金・助成金等）、コロナ禍の新たな課題（子育て支援等）を解決するためのNPO法人設立、広報、解散等の相談を受けた。加えて労務・雇用関係、ガバナンス、一般社団法人の設立相談、企業のSDGs対応等、相談内容も多様化している。会計、労務や法律等に関する専門性の高い相談については専門家に確認して回答、または士業を紹介することで解決につなげた。

表1では相談者属性、表2では相談者所在地分布、表3では相談形式をセンター別で比

較した。

表1. センター別相談者属性比較

属 性	F N C		東部F N C		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
中間支援団体等	60	13.2	42	11.7	102	12.5
N P O等	309	67.9	270	75.0	579	71.0
個人	31	6.8	25	6.9	56	6.9
企業	37	8.1	13	3.6	50	6.1
行政（市民活動以外）	7	1.5	5	1.4	12	1.5
その他	11	2.4	5	1.4	16	2.0
合 計	455	100.0	360	100.0	815	100.0

両センターの相談者属性は、N P O等が71.0%と大半を占め、次いで中間支援団体等（市民活動センター、民間中間支援団体、行政：担当課）が12.5%、個人が6.9%、企業が6.1%であった。

表2. センター別相談者所在地比較

所 在 地	F N C		東部F N C		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
県中部	240	52.7	26	7.2	266	32.6
県東部	87	19.1	298	82.8	385	47.2
伊豆地区	9	2.0	27	7.5	36	4.4
県西部	83	18.2	1	0.3	84	10.3
その他	36	7.9	8	2.2	44	5.4
合 計	455	100.0	360	100.0	815	100.0

※県東部：沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町

県中部：静岡市、焼津市、島田市、藤枝市、牧之原市、川根本町、吉田町

県西部：浜松市、磐田市、袋井市、掛川市、湖西市、菊川市、御前崎市、森町

伊豆地区：下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、西伊豆町、松崎町

その他：県外等

相談者の所在地は、F N Cは県中部が52.7%、東部F N Cは県東部が82.8%であった。

市町センター設置地域からの相談の場合は、市町センターを紹介し、相談者の希望を踏まえて差しさわりのない範囲で情報共有を行い、相談者への支援体制を充実させた。N P

〇法に關しての相談に対応していない市町センターもあるため、各センター機能に応じての協力体制を構築するようにした。

表 3. センター別相談形式比較

相談形式		FNC		東部FNC		合計	
		件数	%	件数	%	件数	%
FNC 単 独 対 応	センターへの来所	95	20.9	83	23.1	178	21.8
	電話	233	51.2	152	42.2	385	47.2
	メール	67	14.7	64	17.8	131	16.1
	オンライン	54	11.9	52	14.4	106	13.0
	その他 (FAX 等)	1	0.2	2	0.6	3	0.4
	出張相談会 (その他)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	出張 (その他)	5	1.1	7	1.9	12	1.5
市町センター等と連携対応		0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計		455	100.0	360	100.0	815	100.0

出張相談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して出張セミナー・講座をオンライン形式に変更したため開催しなかった。オンライン会議システム等の活用は、市町センター未設置地域や遠方からの相談、数カ所からの相談者の参加にも大変有効であり、今後も積極的に活用したい。

**添付資料**

添付 1 : 相談業務 実績表

- ・相談者属性、相談内容、相談者所在地
- ・相談者属性別所在地内訳
- ・相談者属性別相談内容内訳
- ・相談曜日時間帯別累計

## 4 NPO法に基づく認定及び特例認定の取得を目指すNPO法人

### の支援

- ・目的：認定及び特例認定の取得を目指すNPO法人の取得支援
- ・対象：認定及び特例認定の取得を目指すNPO法人
- ・内容：認定及び特例認定取得のため、要件達成に向けた課題の解決や申請書類の作成等に係るコンサルティングを継続的に行った。必要に応じて会計士等の専門家による支援や助言も受けた。  
FNC窓口、団体事務所訪問、電話、メール、オンライン会議システム等によりコンサルティングを行った。
- ・実績：コンサルティング実施 8法人（東部 2法人、中部 4法人、西部 2法人）  
認定NPO法人更新申請書提出 1法人、更新済 1法人、認定申請書類事前チェック中 1法人、認定申請取下げ 1法人、認定申請延期 1法人
  - ①認定NPO法人タイ王国教育支援組織 SHIDA（焼津市）  
認定更新：PST基準（相対値基準）2017年（平成29年）3月24日～2027年（令和9年）3月23日
  - ②NPO法人TWFの会（富士宮市）  
認定申請書類を提出、5月現地調査、再現地調査  
9月に申請取下げ（会計書類不備のため）
  - ③NPO法人土肥の暮らしを支え合う会 きずな（伊豆市）  
認定申請準備を進めていたが、6月申請延長決定（新規開始事業優先のため）
  - ④NPO法人Black Kitty FC（静岡市）  
申請書類の作成等に係るコンサルティングを継続的に実施  
PST基準（相対値基準）による認定申請書提出（令和5年3月27日）
  - ⑤NPO法人掛川文化クラブ（掛川市）  
申請を検討中
  - ⑥NPO法人静岡福祉総合支援の会 空と大地と（焼津市）  
2025年（令和7年）7月、PST基準（相対値基準）による認定申請予定
  - ⑦NPO法人災害救助犬静岡（菊川市）  
認定：PST基準（相対値基準）2018年（平成30年）7月18日～2023年（令和5年）7月17日  
認定更新申請書提出（令和5年3月27日）
  - ⑧NPO法人café de 寺子屋（藤枝市）  
2024年（令和6年）12月、PST基準（相対値基準）による認定申請予定

**総括（成果と課題）**

認定更新手続き終了が1法人、認定更新申請書提出が1法人、認定申請書提出が1法人、認定申請取下げが1法人、延期が1法人、その他は申請準備継続中である。団体にとって認定NPO法人のメリットがないということで、認定更新を行わなかった法人（NPO法人熱海ふれあい作業所）もあった。NPO法人設立相談時に将来的に認定申請を目指す団体もあったが、既存団体で特例・認定申請を目指す団体数は減少している。これは認定・特例認定NPO法人取得で得られる寄付税制優遇が、それに伴う事務負担に見合わないと考えられるためである。確かに少額寄付の場合は、寄付決定が団体の寄付税制優遇の有無にあまり影響されない。しかし、大口寄付者（企業や遺贈寄付者）にとっては税制優遇が寄付の大きな動機付けとなる。

特例・認定NPO法人は寄付先としての信頼度が高く、その数の増加は寄付文化の醸成につながる。NPO法人が寄付財源の重要性を理解し、ファンドレイジングに積極的に取り組むことが求められる。

**添付資料**

添付2：認定等取得の推進 全体管理表



## 5 相談事例の集約及び相談事例集の作成

- ・目的：市町センター等中間支援組織の相談業務支援
- ・対象：中間支援業務従事者
- ・日程：令和4年4月～令和5年2月分まで集約し提供
- ・内容：ふじのくにNPO活動支援センター、ふじのくに東部NPO活動支援センターに寄せられる相談事例を集約し、令和3年度に作成した事例集データに追加・更新して、市町センターに提供する。
- ・実績：令和3年度相談事例集（113 相談事例）に、令和4年4月から令和5年2月までの相談事例を集約して更新し、令和4年度相談事例集（113 相談事例）を作成した。  
令和4年度相談事例集を、市町の中間支援業務従事者34人（26団体）に、メーリングリストやFacebookグループ「静岡県中間支援スタッフグループ」で提供した。

### 添付資料

添付3：令和4年度相談事例集

## 6 NPOのICT利活用の支援

### (1) ICT人材育成

- ・目的：県内中間支援業務従事者及びNPO関係者のニーズに応じて、ICT利活用のための人材を育成する。
- ・実施結果：ICT人材育成講座の開催 8講座
  - 1) ICT利活用情報交換会
    - ・日時：令和4年5月20日（金）13:30～15:00
    - ・場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
    - ・講師：ふじのくにNPO活動支援センター 今村 昌弘
    - ・内容：ICT利活用状況の共有、ディスカッション
    - ・実績：参加者7人（中間支援業務従事者5、NPO2）  
満足度 研修全体 100%（回答率 85.7%）  
県内市民活動センターのICT利活用状況について再確認し、共有した状況から、改善等の目標につなげる気づきが得られた。
  - 2) Zoom 講座 基礎編
    - ・日時：令和4年7月22日（金）13:30～15:30
    - ・場所：ふじのくにNPO活動支援センター
    - ・講師：インストラクショナルデザイナー、静岡県ICTエキスパート 鈴木 真保氏
    - ・内容：Zoomの基本知識および操作（参加者側）に関する講座と実体験
    - ・実績：参加者8人（NPO7、個人1）  
満足度 研修全体 85.7%（回答率 87.5%）  
ICTに苦手意識を持つNPOの方々に、実際の操作体験や会場での雑談的な声からZoomの基礎についての学びを得ることができた。
  - 3) Zoom 講座 応用編
    - ・日時：令和4年8月29日（金）13:30～16:00
    - ・場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
    - ・講師：インストラクショナルデザイナー、静岡県ICTエキスパート 鈴木 真保氏
    - ・内容：Zoomの主催者（ホスト）側についての講座と実体験
    - ・実績：参加者14人（中間支援業務従事者3、NPO法人・NPO9、行政1、個人1）  
満足度 研修全体 92.3%（回答率 92.9%）  
Zoomで主催者（ホスト）を行う場合に必要となる機材や運用のコツなどの知識について、経験者・未経験者のどちらも実際の体験を通して学ぶことができた。
  - 4) Microsoft Nonprofit の導入（申請）・セットアップを学ぶ
    - ・日時：令和4年9月16日（金）13:30～16:20
    - ・場所：ハイブリッド開催：（対面）ふじのくにNPO活動支援センター、（オンライン）

オンライン会議システム (Zoom ミーティング)

- ・講師：テックスープ・ジャパン事務局 渡辺 日出夫 氏、三澤 章 氏
- ・内容：テックスープの概要、Microsoft365 の導入・申請方法・セットアップ 他
- ・実績：参加者 10 人 (中間支援業務従事者 9、NPO 法人 1)  
満足度 研修全体 100.0% (回答率 80.0%)  
非営利団体向けの安価な Microsoft 製品導入について、実際に申請を受け付けているテックスープ・ジャパン事務局から具体的で丁寧な講義を受けた。

5) 初心者～中級者向け Teams 講座

- ・日時：令和4年10月31日 (月) 13:30～16:20
- ・場所：オンライン会議システム (Zoom ミーティング)
- ・講師：テックスープ・ジャパン事務局 渡辺 日出夫 氏  
NPO 法人アットマークリアスNPOサポートセンター 鹿野 順一 氏
- ・内容：Microsoft Teams の基礎から中級の使い方までを学ぶ
- ・実績：参加者 6 人 (中間支援業務従事者 3、NPO 法人 2、NPO 1)  
満足度 研修全体 100.0% (回答率 80.0%)  
DX 推進や ICT 利活用に NPO が取り組むことの実感や必要性について触れ、ツールとしての Microsoft Teams の基礎から中級の利活用などを学んだ。

6) SNS 等を活用した団体広報力強化講座【初級：いまさら聞けない Instagram 編】

- ・日時：令和4年12月19日 (月) 13:30～15:00
- ・場所：ハイブリッド開催：(対面) ふじのくにNPO活動支援センター、(オンライン) オンライン会議システム (Zoom ミーティング)
- ・講師：CLARI MARE 代表・一般社団法人トリナス 副代表 三浦 愛 氏
- ・内容：SNS 利活用の基礎講座および初級向けグループワーク
- ・実績：参加者 7 人 (中間支援業務従事者 5、NPO 法人 2)  
満足度 研修全体 57.1% (回答率 100.0%)  
SNS (Instagram) の基礎・使い始めについて、インフルエンサーを講師に招きグループワークによる実体験を通して学び、自身の今後の活用につなげた。

7) SNS 等を活用した団体広報力強化講座【中級：安心安全に SNS を活用しよう編】

- ・日時：令和5年1月26日 (木) 13:30～15:00
- ・場所：ハイブリッド開催：(対面) ふじのくにNPO活動支援センター、(オンライン) オンライン会議システム (Zoom ミーティング)
- ・講師：CLARI MARE 代表・一般社団法人トリナス 副代表 三浦 愛 氏
- ・内容：SNS 利活用の心得講座および中級向けグループワーク
- ・実績：参加者 6 人 (中間支援業務従事者 2、NPO 法人 1、NPO 1、個人 2)  
満足度 研修全体 75.0% (回答率 66.7%)  
SNS (Instagram) を安心・安全に利用するための心得について学び、グルー

プワークを通して効果的に団体広報に適用する手法を学んだ。

#### 8) 今さら聞けないICTやDX～なぜNPOにも必要なの?～

- ・日時：令和5年2月27日（月）13:30～15:00
- ・場所：ハイブリッド開催：（対面）ふじのくにNPO活動支援センター、（オンライン）オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・講師：一般社団法人シビックテック・ラボ 代表理事・静岡県ICTエキスパート 市川 博之 氏
- ・内容：ICTとは、DXとは、NPOでも使えるICT利活用やDX推進 他
- ・実績：参加者10人（中間支援業務従事者2、NPO法人5、NPO1、行政2）  
満足度 研修全体 88.9%（回答率 90.0%）  
受講者各自が、官民一体となった将来の幸せなデジタル社会の実現に向けたデジタル化の取り組みについて整理することができた。

#### (2) ICT利活用等のための専門家による個別支援

個別支援を希望する団体が県ICTエキスパート派遣事業による専門家派遣が利用できるように相談を受けると共に、申請手続きを支援する。

- ・実績：ICTエキスパート登録…1人  
申請支援団体…3団体（うち2団体にICTエキスパート派遣成立）
  - ①御殿場市民活動支援センター（派遣）
  - ②焼津市市民活動交流センター「くるさ～」（派遣）
  - ③NPO法人レザミ・デ・ザール（団体都合で中止）

#### 総括（成果と課題）

今年度は、オンライン会議システムやクラウドなどの活用をはじめとするICT利活用の社会への浸透がより進んだ。例えば、中間支援業務従事者やNPO等従事者らがオンライン会議の開催に対して抵抗感を示すことも少なくなった。ICT関連の学習ニーズは、自身や団体が苦手な領域に絞られる傾向になり、学習を求めるのではなく周囲に増えたICTエキスパート等による代行を求められることが多くなりつつある。

そうした中で、中間支援事業従事者向けには、自身のICT利活用スキルをさらに向上できる講座、また、NPO等従事者向けには、初心者から玄人までの学習意欲に応じた内容で個人・団体のICT力を高める講座を、中間支援事業従事者向けとNPO等従事者向けの重複を含めた全8回を開催した。県内外のICTエキスパートを講師に迎え、学習ニーズに答えたことで、受講者からはICTの活用を実践できるとの好評を得た。

今後のICT人材の育成においては、コロナ禍が収束しつつある中、加速するDX推進やICT利活用等が広く県民の幸せな未来のためにあることを意識し、初心者の苦手意識を取り除くようなこれまでの講座の企画方針を継続しつつ、新たに、データ化や見える化・

見せる化の知識を増やす等、DX推進やICT利活用をより自分ごとに行えるような講座内容を検討する必要がある。

**添付資料**

添付4：NPOのICT利活用の支援 報告書等

## 7 NPO向け講座等の開催

- ・目的：NPOの組織運営基盤強化に重点を置いた講座（ガバナンス、コンプライアンス及び適切な会計処理並びに資金調達等）を開催し、NPOの信頼度を向上し協働を推進する。

- ・実施結果：NPO組織運営基盤強化セミナー（6講座）の開催

### (1) NPO・市民活動団体等非営利団体のガバナンス強化事業～持続可能な組織づくりの一步目講座～

- ・日程：令和4年5月13日（金）18:30～20:50
- ・場所：ハイブリッド開催：（対面）ふじのくにNPO活動支援センター、（オンライン）オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・講師：IIHOE【人と組織と地球のための国際研究所】 代表者 川北 秀人氏
- ・共催：NPO法人 ESUNE、株式会社 CoAct
- ・内容：講義：ガバナンスについての解説、事前課題の傾向解説、各自の課題の確認  
個人作業：各自の組織の課題への対策立案、各自の組織の課題と対策発表
- ・実績：参加者 29 人、18 団体  
満足度 講座全体 100%（回答率 48.3%）  
全国の非営利団体対象ガバナンス調査結果から、参加団体の問題意識が喚起され、ガバナンスに留まらずマネジメント全体に及ぶ具体的な意見や質問が交わされた。

### (2) NPO法人事務講座 基礎編（伊豆地域市民活動ネットワークオンライン交流会）

- ・日程：令和4年6月3日（金）13:30～16:00
- ・場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・講師：ふじのくに東部NPO活動支援センター 村上 茂之
- ・内容：【第1部】NPO法人事務講座 13:30～14:45  
NPO法人の事務や組織運営の基礎（NPO法人の義務、認証後及び事業年度終了後の手続き、年間事務スケジュール、NPO法に則した事業報告書等提出書類、役員変更や登記で気を付けること 等）  
【第2部】情報交換 14:55～16:00  
参加者の活動紹介、情報交換（兼：伊豆地域市民活動ネットワーク交流会）
- ・実績：参加者 16 人、13 団体（NPO法人 6、中間支援センター 1、任意団体（NPO法人設立予定） 3、個人 3）  
満足度 講座全体 100%（回答率 50.0%）  
認証後及び事業年度終了後の実務の流れ、年間事務スケジュール、役員変更や定款変更の留意点など、NPO法人事務の基礎を理解できるような構成とした。

**(3) 認定NPO法人への支援セミナー（一般社団法人動物保護協会企画）**

- ・ 日程：令和4年6月8日（水）18:30～20:30
- ・ 場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ 講師：ふじのくにNPO活動支援センター 千野 和子
- ・ 内容：NPOの概要、認証NPO法人とは、特例・認定NPO法人とは、質疑応答、相談
- ・ 実績：県内動物愛護活動団体及び従事者：参加者13人、9団体・個人  
満足度 講座全体100%（回答率69.2%）  
動物愛護活動の主財源は寄付であり、各団体が工夫をした資金調達に取り組んでいる。ボランティアベースの任意団体が殆どであり、認証NPO法人、認定・特例認定NPO法人に関する基礎知識、申請方法に対しての興味は高かった。

**(4) NPO・市民活動団体のための会計講座**

- ・ 日程：令和4年9月28日（水）13:30～15:30
- ・ 場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ 講師：久保田総合会計事務所（公認会計士・税理士・中小企業診断士）、静岡県ICTエキスパート 久保田 光彦氏
- ・ 内容：団体の信頼を得る上でも非常に重要であるNPO会計について（知っておきたい基礎知識、日々の記帳と決算手続き、特有の会計書類や税務、その他：会計ソフトの活用、電子帳簿保存法の改正、インボイス制度）
- ・ 実績：参加者23人（対面参加4、オンライン参加18、視聴参加1）、16団体（NPO法人9、中間支援センター2、企業等1、任意団体3、行政1）  
満足度 講座全体100%（回答率47.8%）  
NPO会計の基礎から実践・応用まで包括して理解できるような構成とした。会計ソフトの活用や電子帳簿保存法の改正、インボイス制度の最新情報を提供し、講師との質疑応答の時間を十分に設けた。会計ソフトの導入等を検討するNPO法人に「静岡県ICTエキスパート派遣事業」の利用を呼び掛けた。

**(5) NPO法人事務講座 登記手続き編**

- ・ 日程：令和5年1月18日（水）13:30～15:00
- ・ 場所：ハイブリッド開催：（対面）ふじのくにNPO活動支援センター、（オンライン）オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ 講師：静岡地方法務局 法人登記部門 登記官 青島 澄恵氏
- ・ 内容：NPO法人が行わなければならない登記について（法人登記の意義・必要性、NPO法人として必要な登記事項、NPO法人の設立登記の添付書面、役員変

更の登記の際の注意点、質疑応答等)

- ・実績：参加者 20 人（対面参加 5、オンライン参加 15）、17 団体（NPO 法人 7、中間支援センター 4、任意団体 3、一般社団法人 1、企業等（金融機関） 1、任意団体（NPO 法人設立検討中等） 3、行政 1（市）

満足度 講座全体 93.8%（回答率 80.0%）

静岡地方法務局の登記官を講師に招き開催した。対象者を「県内NPO法人の事務担当者やNPO法人設立検討中の方など」としていたが、登記手続きを行ったことがある参加者の満足度が高くなった。

#### (6) 静岡県非営利組織ガバナンス調査報告会～台風 15 号から考える防災・減災の備え

- ・日程：令和 5 年 3 月 3 日（金）18:30～20:30
- ・場所：ハイブリッド開催：（対面）ふじのくにNPO活動支援センター、（オンライン）オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・講師：IIHOE【人と組織と地球のための国際研究所】 代表者 川北 秀人 氏
- ・共催：NPO 法人 ESUNE、株式会社 CoAct
- ・内容：「静岡県の非営利組織のガバナンスに関する調査」結果報告とその分析、全国調査結果との比較・分析、台風 15 号被災現場からのNPO活動報告、災害時に稼働できるNPOのガバナンスについて
- ・実績：参加者 23 人、18 団体

満足度 講座全体 84.6%（回答率 56.2%）

調査結果から、非営利組織におけるガバナンスの重要性は自覚できているが、実務として何をすべきかを理解できていない団体が多いことが認められた。災害時も想定し、日頃からの「つながり」確保が重要であることを確認できた。

#### 総括（成果と課題）

NPO 向け講座は、新型コロナウイルス感染予防に配慮し、主にオンライン会議システムで開催した。コロナ禍で急速に広まった ICT を活用し、県内各地から参加いただいた。

講座のテーマはこれまでのNPO相談結果から、NPO法人事務の基礎や登記手続き、NPO会計に加え、NPOの組織運営において重要なガバナンス、認定NPO法人支援のテーマを優先させた。これら組織基盤強化のテーマはNPOが社会的信頼を高め、多様な主体との協働を推進するためには必須なものである。

コロナ禍にあってもNPO法人の設立相談は継続的にあり、組織・事業運営や資金調達相談を多く受けた。次年度以降もNPOのニーズに応えながら、組織運営基盤強化を目指した講座を継続的に開催する必要がある。

センター未設置地域のNPOへの広報はSNSや当該地域の行政担当窓口等を通して行うことが多いが、オンライン開催であっても集客が困難なものがあった。講座内容を丁寧



な説明しながら個別案内することも効果的な方法として検討したい。

**添付資料**

添付5：NPO向け講座等の開催 報告書等

## 8 伊豆地域市民活動ネットワークの運営支援

- ・目的：令和元年9月に設立したネットワークの会員増加と協働推進
- ・対象：伊豆地域の課題の解決に向けた活動や、その支援等に取り組んでいる団体、組織、個人
- ・実施結果：

### (1) 構成員の主体的な参加の促進に向けた取組

#### 1) 伊豆地域の連携・協働事例の情報収集（6事例）

##### ①伊豆地域における協働・連携事例の収集 6事例

1. 〔三島市〕ウクライナ避難家族支援チャリティーコンサート  
（NPO法人和のこころ、安久老人会、多呂老人会、この祭り、乱れ咲き実行委員会）
2. 〔下田市〕賀茂地区のものづくりと暮らしをつなぐ「開国てづくり市」の開催  
（NPO法人伊豆 in 賀茂6、開国てづくり市運営事務局、一般社団法人伊豆下田法人会、下田ガス株式会社）
3. 〔三島市〕チャレンジ！浄化センターの道路に絵をかこう  
（アルテ・プラーサ、三島市浄化センター、三島市都市基盤部下水道課、伊豆総業株式会社）
4. 〔沼津市〕子どもたちのくつろぎの居場所づくり  
（子どもの居場所 かけはし、沼津市社会福祉協議会）
5. 〔伊豆市〕伊豆市土肥地区の住民による移動支援サービスの創出  
（NPO法人土肥の暮らしを支え合う会 きずな、NPO法人全国移動サービスネットワーク、認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク、伊豆市 健康福祉部 健康長寿課 高齢者支援スタッフ）
6. 〔三島市〕地域共生社会の実現に向けた里山セラピー苑づくり  
（遊水匠の会、ハーバルケアサポート協会）※両団体とも構成員

##### ②伊豆地域市民活動ネットワークで生まれた協働や構成員間の連携事例 0事例

※収集事例はNPO相談対応等で紹介した。SNS（Facebook ページ、伊豆地域市民活動ネットワーク Facebook グループ）等で随時情報発信していく。

#### 2) 「ミニ交流会」の開催（4回）

##### ①オンラインイベント体験会

- ・日程：令和4年9月27日（火）15:50～17:20
- ・場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ファシリテーター：NPO法人NPOサブライズ 事務局長 野田 康代 氏
- ・内容：自己紹介（各自1分）、Zoom ミーティングのツールの操作体験
- ・実績：参加者5人、3団体（NPO法人2、任意団体1）

令和4年度の北地区交流会「ワークショップ運営スキルアップ講座」参加者の「失敗できるファシリテーター体験やZoomの機能体験の場づくり」との要望を受け、「ICT」をテーマに、少人数でZoom機能を練習・失敗できる場として企画した。Zoomミーティング内で使えるホワイトボードやブレイクアウトルーム等のアプリ内ツールの操作体験を通して交流を深めた。

②南伊豆町「漁師の森づくりプロジェクト」を学ぼう

- ・日 程：令和4年10月28日（金）15:30～16:40
- ・場 所：オンライン会議システム（Zoomミーティング）
- ・話題提供：NPO法人伊豆未来塾 理事長 石川 憲一 氏
- ・内 容：漁師の森づくりプロジェクトの取組みについて、意見交換
- ・実 績：8人、5団体（NPO法人2、中間支援センター1、任意団体1、個人1）

「環境保全」をテーマに、南伊豆町の長年放置された山を針葉樹から広葉樹に植え替えて整備し、川をきれいにし、山から海を蘇らせる「漁師の森プロジェクト」について学び交流した。話題提供の動画はFNCのYouTubeチャンネルに公開し、広報・啓発した。

③伊豆市土肥の住民主体による有償ボランティア（地域支え合い活動）

- ・日 程：令和4年11月29日（火）15:30～16:30
- ・場 所：オンライン会議システム（Zoomミーティング）
- ・話題提供：NPO法人土肥の暮らしを支え合う会 きずな  
理事長 勝呂 信正 氏、事務局 黒川 正樹 氏
- ・内 容：アイスブレイク（参加者の自己紹介）、有償ボランティアによる地域支え合い活動について、質疑応答・意見交換
- ・実 績：8人、5団体（NPO法人1、中間支援センター1、任意団体2、行政1）

「高齢者支援・有償ボランティア」をテーマに、地域支え合い活動について学び交流した。伊豆地域市民活動ネットワークの構成員に加え、県西部・東部地区のNPO法人や任意団体（NPO設立予定）の参加者と学び交流した。冒頭にアイスブレイク（参加者の自己紹介）を行い、参加者の緊張感がほぐれ、スムーズに進行した。話題提供の動画はFNCのYouTubeチャンネルに公開し、広報・啓発した。

④三島の農福連携事業「すなあそびファーム」を学ぼう

- ・日 程：令和4年12月22日（木）13:30～14:30
- ・場 所：ハイブリッド開催  
対面（現地見学） | すなあそびファーム（住所：三島市平田 514-5）

オンライン | オンライン会議システム (Zoom ミーティング)

- ・ 話題提供 : NPO法人にじのかけ橋 すなあそびファーム担当 鈴木 大輔 氏、野田 康代 氏
- ・ 内 容 : NPO法人にじのかけ橋の概要、すなあそびファームの事業概要と圃場見学、質疑応答・意見交換
- ・ 実 績 : 7人 (対面3、オンライン4)、7団体 (中間支援センター1、企業等2、任意団体1、個人3)  
「障がい者支援・農福連携」をテーマにハイブリッド形式で開催した。伊豆地域市民活動ネットワークの構成員に加え、県中部・東部地区現地からの参加者と学び交流した。スマートフォンのテザリングによる生配信は初の試みであったが、オンライン参加者にもすなあそびファームの現場を体感してもらうことができた。話題提供の動画はFNCのYouTubeチャンネルに公開し、ネットワーク活動の啓発を図った。

### 3) 「地区別交流会」の開催 (2回+1回開催)

#### ①NPO法人事務講座 基礎編 (再掲) ※7 NPO向け講座等の開催 (2)

- ・ 日 程 : 令和4年6月3日 (金) 13:30~16:00
- ・ 会 場 : オンライン会議システム (Zoom ミーティング)
- ・ 内 容 : 【第1部】NPO法人事務講座、【第2部】情報交換
- ・ 実 績 : 参加者16人、13団体 (NPO法人6、中間支援センター1、任意団体 (NPO法人設立予定) 3、個人3)

#### ②SNSを活用した情報発信力—NPO法人伊豆 in 賀茂6のネットワーク戦略— (東・西地区交流会)

- ・ 日 程 : 令和5年2月8日 (火) 13:30~15:15
- ・ 会 場 : オンライン会議システム (Zoom ミーティング)
- ・ 講 師 : NPO法人伊豆 in 賀茂6 理事長 岡崎 大五 氏
- ・ 協 力 : NPO法人伊豆 in 賀茂6
- ・ 内 容 : 【第1部】SNSを活用した情報発信力、【第2部】情報交換
- ・ 実 績 : 参加者8人、4団体 (NPO法人1、中間支援センター1、任意団体1、行政1)

新型コロナウイルス感染予防に配慮してオンライン形式で開催した。伊豆賀茂地区のハブとなるNPO活動に取り組んでおり、SNSのnote「地方の未来は面白い！」やFacebook等を活用して情報発信しているNPO法人伊豆 in 賀茂6の活動事例をもとに、仲間づくりや集客のための情報発信のコツや工夫を学ぶ機会を提供し、参加者同士で交流した。第1部 (講座) の動画をFNCのYouTubeチャンネルで公開し、ネットワーク活動の啓発を図った。

③人と「つながる」広報講座～知って・伝えて・つながって～（北地区交流会）

- ・日 程：令和5年2月21日（火）14:00～16:00
- ・場 所：ハイブリッド開催：（対面）みしま未来研究所 レンタルスペース（大）  
（三島市中央町6-2）、（オンライン）オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・講 師：一般社団法人夢ラジオ 理事、IZUCCO 制作実行委員会 代表、株式会社わたしたち 代表取締役 中野 あゆみ 氏
- ・進 行：NPO法人NPOサプライズ 事務局長 野田 康代 氏
- ・協 力：NPO法人NPOサプライズ
- ・内 容：1. 「つながる」ためには何が必要？  
2. わたしたちって「ナニモノ？」発見！ワークショップ  
3. 交流タイム
- ・実 績：参加者 10 人（対面 7、オンライン 3）、8 団体（一般社団法人 1、企業等 2、任意団体 2、個人 3）

新型コロナウイルス感染予防に配慮しハイブリッド形式で開催した。市民活動を継続していく中では、地域の方々や団体やエリアを超えた「つながり」を持つことで、災害時など、いざという時の相互協力もしやすくなる。当日は、「つながる」ための「言語化」の必要性を学び、自団体の活動の「言語化」と「伝わる言葉」を考え、自己紹介シートを作成した。交流タイムでは、自己紹介シートで自己紹介しながら、参加者同士で協働の可能性や今後の活動の展開について情報交換した。多くの協働アイデアが出され、今後の協働が見込まれる。講座の動画をFNCのYouTubeチャンネルで公開し、ネットワーク活動の啓発を図った。

(2) 構成員間の交流の促進・情報の効果的な受発信の方法

- ・伊豆地域を2地区（賀茂地区：東地区＋西地区と北地区）に分け、東・西地区はNPO法人伊豆 in 賀茂6、北地区はNPO法人NPOサプライズの協力を得て活動を推進した。
- ・Facebook グループ「伊豆地域市民活動ネットワーク」の運用管理、県ホームページ「ふじのくにNPO」内「伊豆地域市民活動ネットワーク」コンテンツの更新、メールマガジンの発信等を通して、研修・セミナー・イベント・団体・助成金情報等の広報・受発信を進めた。

※Facebook グループ「伊豆地域市民活動ネットワーク」

<https://www.facebook.com/groups/2019izunet/>

※県ホームページ「ふじのくにNPO」内「伊豆地域市民活動ネットワーク」

[https://www.npo-fujinokuni.jp/link\\_izu/](https://www.npo-fujinokuni.jp/link_izu/)

**総括（成果と課題）**

- ・ 構成員数は、相談者や交流会の参加者等に対して個別に入会推奨し、前年度から16増の140（前年度比12.9%増）となった。Facebookグループ「伊豆地域市民活動ネットワーク」のメンバーは166（前年度比13.6%増）、発信数は238件（同72%）となった。
- ・ 伊豆地域での連携・協働事例については多数収集できたが、伊豆地域市民活動ネットワークで生まれた協働や構成員間の連携事例については、ネットワーク入会以前からの連携事例のみ把握できた。その他、ネットワークの構成員（NPO法人）が、ミニ交流会や地区別交流会等のネットワーク活動への参加を通じて協働の重要性を学び、異分野のNPOとの連携や協働に積極的に取り組んでいることも把握できた。
- ・ これまで企画してきた異なる活動分野間の交流の場の役割は保持しつつ、同じ活動分野間の情報共有の場づくりや、ICTツールの相互練習など気軽に交流できる場づくりとして、ミニ交流会と地区別交流会を開催した。オンラインの活用によって、各分野に関心のある県内他地域・県外居住者の参加も見られ、当初想定していた伊豆地域エリアを超えた広域的な交流や情報交換が進んだ。特に北地区交流会には、これまで接点がなかった伊豆地域の子育て支援関係者に参加いただき、入会者も増加した。
- ・ 令和元年度の伊豆地域市民活動ネットワーク設立以来、地区別に交流会や講座・セミナーを主に開催してきた。「伊豆は一つひとつ」という言葉で示されるように、地域別に求心力を持つ団体を見出すことはできなかったが、伊豆地域では移住者を含め個別に多様な活動が行われており、潜在的な連携・協働事例も多く存在すると考えられる。次年度以降は、活動分野ごとでのネットワーク化を試み、2テーマ（子育て支援団体と移住促進団体）による交流会の開催等を通してネットワークの自走を目指す。

**添付資料**

添付6：伊豆地域市民活動ネットワーク 入会申込書、会員内訳、報告書等

## 9 中間支援人材の育成

### (1) テーマ1：電子帳簿保存法について

- ・ 目的：電子帳簿保存法について学ぶ。

※令和4年1月1日から開始。令和5年12月31日までの間に電子保存に対応できない事情があると税務署長が認め、かつ出力書面での提出等に応じることができる場合は出力書面での保存も認められる。

- ・ 日程：令和4年6月9日（木）13:30～15:00
- ・ 場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ 講師：財務省主税局制第一課 金田一氏
- ・ 内容：事前相談を受け付け、研修後に質疑応答や意見交換を実施した。
- ・ 実績：参加者9人（中間支援5）

満足度 研修全体 66.7%（回答率 60.0%）

電子帳簿保存普及のための講師派遣を内閣府のNPO窓口から依頼した。NPO法人ならではのケースを想定した研修としたが、制度そのものを理解するには時間が必要である。税理士等とやり取りしながらより理解を深め実務に反映させる必要がある。

### (2) テーマ2：消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入について

- ・ 目的：中間支援として消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）についての基礎知識を学ぶ。

※令和5年10月から導入。適格請求書とは一定の事項が記載された請求書や納品書その他これらに類する書類。適格請求書等保存方式では、税務署長に申請して登録を受けた課税事業者である「適格請求書発行事業者」が交付する「適格請求書」（インボイス）等の保存が仕入税額控除の要件となる。

- ・ 日程：令和4年6月23日（木）13:30～15:00
- ・ 場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ 講師：財務省主税局税制第二課消費税第二係 島田氏
- ・ 内容：事前相談を受け付け、研修後に質疑応答や意見交換を実施した。
- ・ 実績：参加者18人（中間支援11、行政1、一般社団法人1）

満足度 研修全体 81.8%（回答率 78.6%）

研修終了後も活発な意見交換が行われ、講座内容をより深めることができた。免税事業者、簡易課税制度を選択している課税事業者、行政との関わりが多いNPO法人や一般社団法人非営利型にとっては、今後どう対処していくべきか検討事項が多く、さらなる研修や相談窓口の必要性が認められた。

(3) テーマ3：多様な働き方を支える労務について

- ・ 目的：多様な働き方改革推進のもと、NPO法人への関わり方も多様化している。令和4年1月1日より導入された新制度「雇用保険マルチジョブホルダー」、NPO法人特有の「ダブルワーク（副業・兼業）」「有償ボランティア」について、労務の観点から学ぶ。
- ・ 日程：令和4年8月25日（木）13:30～15:00
- ・ 場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ 講師：静岡県働き方改革推進支援センター派遣専門家 白井 和夫 氏（特定社会保険労務士）
- ・ 内容：事前相談を受け付け、研修後に質疑応答や意見交換を実施した。  
「働き方改革」時代に活かすダブルワーク（副業・兼業）とは？  
ダブルワーク（副業・兼業）、NPOの有償ボランティア、雇用保険マルチジョブホルダー、質疑応答
- ・ 実績：参加者12人（中間支援7、行政1、NPO3、個人1）  
満足度 研修全体 85.4%（回答率 83.3%）  
多様な働き方を推進することで社会貢献活動への参加が期待される。NPOではすでに副業やシニア雇用を積極的に取り入れているため、新制度についての研修はたいへん有意義だった。また、NPO特有のボランティアと雇用との関係性についても再認識できた。

(4) テーマ4：労働者協同組合法について

- ・ 目的：令和4年10月から導入される新しい非営利組織である労働者協同組合について学び、市町センターにおける業務に活かす（労働者協同組合法の概要、NPO法人との違い、設立方法等）。  
※令和4年10月1日から施行。労働者協同組合法に基づいて設立された法人で、組合員が出資し、それぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織。
- ・ 日程：令和4年9月21日（水）13:30～15:00
- ・ 場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ 講師：特定非営利活動法人ワーカーズコープ東海事業本部 岡田 俊介 氏
- ・ 内容：労働者協同組合法の概要、労働者協同組合とNPO法人との違い、労働者協同組合の設立方法、質疑応答
- ・ 実績：参加者17人（中間支援7、行政2、NPO5 等）  
満足度 研修全体 100%（回答率 47.1%）  
NPO法人との大きな違いや設立プロセス、メリット、課題、また県内の労働者協同組合の事例等も紹介された。非営利組織の選択肢が増え、中間支援



での相談業務に活かせる有益な情報が得られた。

#### (5) テーマ5：相談事例の共有

- ・ 目的：市町センターが受ける相談事例共有し、その課題や解決策について意見交換を行う。
- ・ 日程：令和4年11月24日（木）13:30～15:00
- ・ 場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ 内容：各センターの現状や課題について情報・意見交換を行った。  
氏名、所属自己紹介、月平均相談件数、よくある相談、最近の相談事例、令和4年度相談事例集（暫定版）の要点説明、困った相談の対処についての意見交換、団体からイベント等紹介、相談事例を共有しながら中間支援スタッフの自由な意見交換会
- ・ 実績：参加者11人（中間支援8、行政2）  
満足度 講座全体 85.7%（回答率 63.6%）  
ふじのくにNPO活動支援センターが対応した相談事例をまとめた相談事例集をテキストに各センターと共有した。相談対応については各センターの状況がそれぞれ異なるため、事例集を有効活用しているセンターもある一方で全く利用していないところもあった。

#### (6) テーマ6：中間支援の役割とは？

- ・ 目的：県外の事例を参考に、各センターの果たすべき中間支援機能について検討する。
- ・ 日程：令和5年1月24日（火）13:30～15:00
- ・ 場所：オンライン会議システム（Zoom ミーティング）
- ・ 講師：認定特非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター 理事、ふくしま地域活動団体サポートセンター 所長、福島市市民活動サポートセンター 所長 内山 愛美 氏
- ・ 内容：「福島県の事例から学ぶ」  
中間支援とは（福島の実例）、県のセンターと市のセンターの役割、多様な主体との関わり（企業とNPOのマッチング、インターンシップ等）、災害時における中間支援、質疑応答
- ・ 実績：参加者21人（中間支援8、行政3、NPO2）  
満足度 講座全体 100%（回答率 57.1%）  
福島県の事例から、静岡県における県センターと市センターの役割、災害時におけるNPOセンターの役割について意見交換できた。

### 総括（成果と課題）

今年度導入された労働者協同組合法をはじめとした新制度について、中間支援として備えるべき基礎知識習得を目的とし各分野の専門家を招聘しての研修を主に開催した。さらに理解を深めるためには継続的な研修の必要性が認められた。市センターではスタッフ研修に時間と経費を充当できないので、県のセンターによる開催への期待が大きい。

また9月に発生した令和4年台風15号による被災者支援を通じて、災害時における中間支援の役割や、NPO法施行から25年を迎えるにあたり新たな機能を検討する必要があるということを考えるセンターも多いことが分かった。特にテーマ5：相談事例の共有と、テーマ6：中間支援の役割とは？では、次年度は更にテーマを深掘した意見交換会開催を要望する声があった。

### 添付資料

添付7：中間支援人材の育成 報告書等

## 10 NPOと企業等とのマッチング支援

・目的：企業や就業者の社会貢献ニーズを把握し、NPO活動活性化のために活躍できる機会を創出する。SDGsを共通言語として企業とNPO等との連携を推進する。

・実施結果：

### (1) 企業等とNPOとの連携・協働事例発表会の開催

・日程：令和4年7月27日（水） 13:00～16:00

・対象：企業、NPO、その他

・場所：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 4階 第1研修室、第2会議室

・実績：「SDGsでつながる企業とNPO」の開催

参加者 103人

（企業56、NPO19、中間支援7、その他の非営利組織8、個人5、行政8）

#### ①協働事例発表

- ・全国規模の企業とNPOとの協働事例紹介（NECの協働事例）
- ・静岡県内の協働事例発表（4事例：令和3年度協働事例調査より3事例とその他1事例）

#### ②企業ブース発表（17企業）

- ・ポスター展示等

県内のSDGsやNPOとの協働に関心のある企業対象に、ブース発表企業を公募した。10社の募集に対し20社からの応募があり、企業の「SDGs」「NPOとの協働」への関心の高さが示された。応募企業の全てがブース発表できるようプログラムや展示場所を調整した（その後2社辞退、1社当日欠席）。

参加企業対象にヒヤリングを事前に行い、NPOに対するニーズを把握した上で、連携の期待が持てそうなNPOに参加を呼び掛けた。

### (2) 企業等とNPOとの出会いの場創出（交流会開催）

・日程：令和4年10月7日、14日、21日

・対象：企業、NPO、その他

・実績：「マッチング交流会～わたしたちのSDGsがはじまる～」の開催

【東部】令和4年10月14日（金）13:00～16:00

場所 富士市民活動センター コミュニティ f

参加者 企業5、NPO等6

【中部】令和4年10月7日（金）13:00～16:00

場所 ふじのくにNPO活動支援センター

参加者 企業7、NPO等4

【西部】令和4年10月21日（金）13:00～16:00

場所 菊川市市民協働センター

参加者 企業1、NPO等3

事前ヒヤリングから得た企業とNPO双方の要望や協働提案を整理・検討し、具体的な連携が誕生するようグループ分けし、必要に応じて新たなパートナーの参加も促した。その結果、交流会では連携のための具体的な課題整理、役割分担、意見交換が行われ、協働体制が組み立てられていった。また、予期せぬ出会いも多く生まれ、新たな視点で連携の可能性を探ることができ、思わぬ方向に展開した事例もあった。企業とNPOの交流の場は、協働のきっかけと体制づくりに大きな役目を果たした。

### (3) 協働のマッチング及び伴走支援

- ・日 程：令和4年12月～令和5年2月
- ・対 象：交流会でマッチングを希望する企業とNPO
- ・場 所：オンライン会議システム等又は団体事務所、企業事務所、市町センター等（企業やNPO等の要望に応じて決定）
- ・実 績：企業、NPOとのコミュニケーションを円滑に進めながら、マッチング推進のために、対面、オンライン、メール、電話等で必要な支援を提供した。また必要に応じて外部アドバイザーを交え、実施に向けた伴走支援を行った。  
パートナーシップ構築の可能性のある事例 14 事例  
(東部4、中部4、西部3、県全域3)

#### 【東部】

- ① 【富士宮市】NPO法人ぴくにつく×株式会社杏林堂薬局…ぴくにつく主催講座で杏林堂薬局が講話と骨密度測定を実施
- ② 【富士市】グローバルデザインスクール株式会社×日の丸サンズ株式会社…菊川ジュニアビレッジの小中学生が、日の丸サンズとの商談を体験。製品（ハーブティ）を日の丸サンズ管轄のサービスエリアで販売
- ③ 【沼津市、三島市、御殿場市、裾野市等】全国心臓病の子どもを守る会静岡県支部×沼津信用金庫…ヘルプマークの普及啓発活動
- ④ 【富士市】株式会社杏林堂薬局×富士市ラジオ体操連盟…富士市内の杏林堂薬局の店舗駐車場を使って一般向けのラジオ体操の場を提供。杏林堂薬局はグッズ提供（令和5年度スタート予定）

#### 【中部】

- ⑤ 【静岡市】竹部（バンブ）×株式会社フーズ・ユー…放置竹林対策としてのメンマと、害獣被害対策としてのジビエを活用し、レトルト食品を協働開発。メンマ

とジビエチャーシューのレシピ開発のため外部アドバイザー支援を行った。

- ⑥ 【静岡市】前島企画×認定NPO法人オールしずおかベストコミュニティ…前島企画は福祉事業所との連携を希望。農福連携を推進するオールしずおかベストコミュニティと連携し、電解水農法による無農薬イチゴの生産を福祉事業所に提案
- ⑦ 【藤枝市】藤枝みんなのミライ楽校×株式会社経営参謀…藤枝みんなのミライ楽校の資金調達や広報活動に協力
- ⑧ 【静岡市】日興美術株式会社×水見色きらく市企業組合…わさび蓮根をきらく市で販売。学び型観光・体験プラットフォーム「MANAVIVA!」のサイトのコンテンツにきらく市の自然体験活動を掲載（令和5年度スタート予定）

#### 【西部】

- ⑨ 【菊川市】グローバルデザインスクール株式会社×株式会社杏林堂薬局…グローバルデザインスクールが菊川市で運営する菊川ジュニアビレッジの製品（ハーブティー）の販売場所を、杏林堂薬局菊川店が提供
- ⑩ 【磐田市】認定NPO法人COMPAS×株式会社サインクリエイト…COMPASが行っている子育て応援イベント「子育て家族と防災まちづくりフェア」へ参加費を払って出展
- ⑪ 【掛川市】NPO法人日本地域部活動文化部推進本部（Pocca）×維新エンターテインメント株式会社…維新エンターテインメントは、Poccaが運営する地域部活「掛川未来創造部 Palette」の部員にオンライン謎解きワークショップを開催。PoccaのYouTube情報番組「Ch. CoCo」に協力

#### 【県全域】

- ⑫ 【県内】全国心臓病の子どもを守る会静岡県支部×株式会社杏林堂薬局…ヘルプマークの普及啓発活動
- ⑬ 【県内】全国心臓病の子どもを守る会静岡県支部×株式会社静鉄ストア…ヘルプマークの普及啓発活動
- ⑭ 【県内】日興美術株式会社×株式会社杏林堂薬局…おくすり手帳の提案

#### (4) 成果報告冊子の作成（A5判、24ページ）

- ・印刷物（150部）…協力企業・団体へ配布、FNC及び市町センターに配架。来年度事業の広報に活用
- ・ホームページ掲載…県ホームページ「ふじのくにNPO」

#### 総括（成果と課題）

- ・企業の関心が高い「SDGs」を共通言語とすることで、NPOと企業等との連携・協働体制が取りやすかった。
- ・協働事例発表会できっかけや出会いの場をつくり、地域別交流会でより深くつながり、

協働事例へと、段階的に繋げていった。

- ・ 事前にヒヤリングをすることでニーズを把握し、それぞれのパートナー候補を探しマッチングに導いた。この際、NPOの事業整理を必要とする団体もあり、マッチング前の事前調整に時間をかけることは大変重要であった。
- ・ 目標や課題がはっきりしている企業・団体は協働事例に繋がるが、漠然とSDGsを掲げている企業や、企業への具体的な提案がないNPOは、事業に結びつきにくかった。
- ・ 業種によっては、NPOとの連携を具体化するには継続的な交流が必要と認められた。また、イベント参加など小さな協働から開始した場合は、来年度以降も交流を続けることで、次のステップが期待できると予想された。
- ・ 対話の継続が困難になった場合、早い時期での調整により軌道修正は可能であった。しかし調整時期が遅れると、対話が継続できない原因究明・解決に時間や労力を要し連携体制に戻ることが難しかった。定期的な事業の進捗確認は重要である。
- ・ アンケート結果から、「異業種の方と交流できいろんな事を気づかせてもらった」「NPO(企業)の課題を知ることができた」等交流の場に対する評価はNPO・企業からも高かった。日頃接点がない異業種団体との交流の場を求める声はNPO・企業も高く、場の設定への期待も高い。

## 添付資料

添付8：NPOと企業等とのマッチング支援 報告書等

- ・ SDGs でつながる企業とNPO：チラシ、実施報告書、ブース企業アンケート結果
- ・ マッチング交流会：チラシ、概要、参加者アンケート結果、外部アドバイザー報告
- ・ 協働のマッチング及び伴走支援：外部アドバイザー支援報告
- ・ 成果報告冊子：ホームページ掲載データ

## 11 NPO、社会貢献活動等に関する情報発信

- ・目的：NPO、社会貢献、協働に関する情報の県民周知
- ・対象：県民、企業、NPO、行政、他
- ・実施結果：
  - 1) NPOに関心のある県民や県内NPO関係者等が、無料又は低廉な料金で参加できるイベント・研修等について、市民活動センター等から情報収集した上で、県ホームページ「ふじのくにNPO」のお知らせコーナーに掲載。市町センターからの情報は毎月15日までにGoogleフォームで集約し20日前後に更新する予定であったが、市町センターからの依頼はほとんどなかった。そのため、センターに届いたメールやチラシ、SNS等から情報収集を行い随時更新した。
  - 2) 県内NPOが活用できる助成金・公募の情報を収集し、県ホームページ「ふじのくにNPO」の助成金・公募情報データベースを主に月1回、その他必要に応じて更新した。
  - 3) 県内外の協働、NPO、社会貢献活動等に関する情報を、県内外から送付される発行物やインターネット等から収集し、県ホームページ「ふじのくにNPO」やSNS等を活用して随時発信した。
    - ・年間情報発信件数…646件（令和3年度 394件）  
 県内NPOと県民をターゲットに設定し、機動性と拡散性に利があるSNSツールを主に活用（Facebook、Twitter、Instagram、LINE）
    - ・Facebookページの「いいね」数…FNC 863、東部FNC 467  
 （令和3年度末 FNC 784、東部FNC 441）
    - ・Twitterのフォロワー数…2467（令和3年度末 2,439）

### 総括（成果と課題）

新しくなった県ホームページ「ふじのくにNPO」での情報発信に加え、何種類かのSNSツール（Facebook、Twitter、Instagram、LINE）を活用し積極的に発信した。特に台風15号による被害については、SNSの活用や個別に団体等からヒヤリングを行い積極的に情報収集・発信を行った。また講師や参加者の同意が取れた場合は、終了後講座や研修の様子をYouTubeで公開した。SNSはプッシュ型の情報発信ツールとしてだけでなく、双方向性のコミュニケーションツールとしてNPO相談にも頻繁に利用された。

令和4年4月から改正個人情報保護法が施行され、個人情報の保護やセキュリティについて十分に配慮した。

### 添付資料

添付9：NPO・社会貢献・協働情報の収集と発信 集計表、掲載記事

## 12 その他の業務

### (1) 連絡調整業務

- 1) 月例会議（再掲） ※2 NPOや中間支援組織と県との間のコーディネート(1)
  - ・目的：センターの業務連携や課題の共有
  - ・出席者：ふじのくにNPO活動支援センター、ふじのくに東部NPO活動支援センター、静岡県 県民生活課 協働推進班
  - ・内容：センター運営上の課題や業務連携について連絡・調整を行う。
  - ・場所：ふじのくにNPO活動支援センター、県庁
  - ・実績：11回開催

### (2) その他、協働の推進、NPOの自立や活動の拡大のために必要な業務

- 1) 令和4年度静岡県パートナーシップ委員会 傍聴・オンライン会議開催支援
  - ・日程：第1回 令和4年8月2日（火）  
第2回 令和5年2月16日（木）
  - ・場所：ふじのくにNPO活動支援センター
- 2) 令和4年度市町市民活動担当課長会議 出席
  - ・日程：令和4年5月24日（火）
  - ・場所：ふじのくにNPO活動支援センター（ハイブリッド開催）
- 3) 活動実態要確認NPO法人へのヒヤリング調査
  - ・期間：令和4年9月～令和5年1月
- 4) 物価高騰によるNPO活動への影響ヒヤリング調査
  - ・期間：令和4年10月
  - ・実績：30件

### (3) 施設管理業務

- 1) 受付、電話応対等
 

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策の実施、受付時の体調確認と責任者の連絡先確認、消毒ジェル等の設置、ドアノブ・机の都度消毒、感染症予防に関するポスター掲示による啓蒙を行った。
- 2) ふじのくにNPO活動支援センター、ふじのくに東部NPO活動支援センターの施設管理
  - ・開館日数：FNC 243日、東部FNC 211日  
※令和3年度：FNC 240日、東部FNC 220日
  - ・来館延べ人数：699団体（FNC 593団体、東部FNC 106団体）  
1,725人（FNC 1,595人、東部FNC 130人）



※令和3年度：1,085 団体（FNC 629 団体、東部FNC 456 団体）  
2,176 人（FNC 1,535 人、東部FNC 641 人）

**添付資料**

添付 10：来館者集計表（ふじのくにNPO活動支援センター及びふじのくに東部NPO活動支援センター）

## 添付資料

添付1：相談業務 実績表

- ・相談者属性、相談内容、相談者所在地
- ・相談者属性別所在地内訳
- ・相談者属性別相談内容内訳
- ・相談曜日時間帯別累計

添付2：認定等取得の推進 全体管理表

添付3：令和4年度相談事例集

添付4：NPOのICT利活用の支援 報告書等

添付5：NPO向け講座等の開催 報告書等

添付6：伊豆地域市民活動ネットワーク 入会申込書、会員内訳、報告書等

添付7：中間支援人材の育成 報告書等

添付8：NPOと企業等とのマッチング支援 報告書等

- ・SDGs につながる企業とNPO：チラシ、実施報告書、ブース企業アンケート結果
- ・マッチング交流会：チラシ、概要、参加者アンケート結果、外部アドバイザー報告
- ・協働のマッチング及び伴走支援：外部アドバイザー支援報告
- ・成果報告冊子：ホームページ掲載データ

添付9：NPO・社会貢献・協働情報の収集と発信 集計表、掲載記事

添付10：来館者集計表（ふじのくにNPO活動支援センター及びふじのくに東部NPO活動支援センター）

